



小型 IC タグで作業負担を軽減

商品持出・棚卸処理・展示会において大幅な作業負担軽減

バーコードが宝飾業界に紹介されて間もないころに、いち早くバーコードプリンタを導入し、業務効率のUPを実現した会社がある。

新しいチャレンジには時としてリスクが伴うが、それに臆することなく30年を経た今も「明るく前向きな姿勢」で新たなチャレンジに取り組んでいる。

千葉県千葉市に本社を構える(株)ジュエルはまは、今年で創立30周年を迎え、地域密着で順調に成長を遂げた会社。同社の販売形態は、職域(訪問)販売・店舗販売・展示会の3つが柱となっており、なかでも中核をなすのが職域販売。



創立30周年を迎えた
ジュエルはまのエンタランス

主に千葉県内の官公庁や企業を訪問し1~2時間の展示販売を行うスタイル。現在20名の販売員が県内を車で所狭しと走り回る。ひとりの販売員が持ち出す商品点数は約300点、単純計算で常時6,000点の商品が日々動いていることになる。

通常、販売員は週単位で商品の管理を任せられ、商品についてのバーコードを一点一点スキヤナで読み込み、商品の持ち出しを行っていたが、週一回とはいえない全ての商品の値札を裏返してバーコードを読取る作業は大きな負担になっていた。これに加え販売員間の商品の移動が日常となると、会社

としても負担軽減策を検討せざるをえなかった。

この状況の中、濱地社長が目をつけたのがICタグによる商品一括読込。「この機能を使えば商品持出作業時間が大幅に削減できる」と確信した社長は、ICタグ導入を決断した。

作業性が大幅に向上

現在、職域販売で持ち出される商品全てにICタグが取り付けられており、実際に運用されている。実稼動後まもないということもあり、大幅な時間短縮を実現したと



同社の中核事業である
職域販売のイメージ

まではいけない状況だが、ケースごと一括読み取りできることにより、作業性は格段に向上し販売員の作業負担は確実に軽減されている。



- ▲ 作業環境イメージ
- ◀ 商品バッグ(小)からケースを取り出した状態。全品にICタグが取り付けられている。

また、同社にとって夏は展示会の最盛期。毎週末が展示会となり、金曜の夜は展示会持出し処理に追われるが、今年は大幅な作業効率のアップと時間短縮が見込めるICタグのおかげで暑い夏を若干涼しく乗り切れそうだと期待している。

新しい使い方を創造

濱地社長は「仕事の精度を上げること、スピードを上げることが非常に大事、その為には新しいことにチャレンジしていかななくてはならない。今回のICタグ導入も新たなチャレンジの一つ、導入効果を100%引出すにはもう少し時間がかかるだろうが、使いこなすのは時間の問題。その先には現状の使い方に満足せず、ICタグの新しい使い方を創造していくことが重要だ。」と語る。

創立30周年を迎え、例年にも増して暑い夏を迎える同社だが、そのチャレンジスピリットは更に熱い。



- ◀ 宝飾ケースに挟みこまれた小型ICタグ

お問い合わせは

PEC フェニックス電子株式会社

本社営業部 TEL:075-221-5855 FAX:075-221-5377

東京営業部 TEL:03-3668-0201 FAX:03-3668-0203

中部営業所 TEL:0568-29-2145 FAX:0568-29-2146

URL <https://www.phoenix-denshi.co.jp/>